

集会案内

第26回 中国四国ウイルス研究会

坂口末廣

徳島大学疾患酵素学研究センター神経変性疾患研究部門

プログラム

会期：2011年6月18日(土)、19日(日)
会場：徳島大学医学部 青藍会館 大会議室
(〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15)

第一日：6月18日(土曜)

セッション1 座長 山口剛士(鳥取大農)

- 台湾のニワトリから分離された低病原性H5N2インフルエンザウイルスの病原性獲得
○曾田公輔^{1,2)}, 伊藤啓史¹⁾, 伊藤壽啓¹⁾, 喜田宏²⁾
 - 鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
 - 北海道大学獣医学研究科微生物
- ウズラ由来H7N6亜型鳥インフルエンザウイルスのウズラおよびニワトリ脳継代によるHA開裂部位へのアミノ酸挿入と脳内における増殖性の獲得
○笛吹達史^{1,2)}, 藤本佳万³⁾, 宇野由紀子¹⁾, 伊藤啓史^{2,3)}, 伊藤壽啓^{2,3)}, 山口剛士^{1,2)}
 - 鳥取大学農学部獣医衛生学研究室
 - 鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
 - 鳥取大学農学部獣医公衆衛生学研究室
- 野鳥からのH5N1亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスの分離
○伊藤啓史^{1,2)}, 笛吹達史^{1,3)}, 尾崎弘一^{1,4)}, 曾田公輔¹⁾,

第26回中国四国ウイルス研究会世話人

坂口末廣

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

徳島大学疾患酵素学研究センター神経変性疾患研究部門

TEL: 088-633-7438

FAX: 088-633-7440

E-mail: sakaguch@ier.tokushima-u.ac.jp

市川利奈²⁾, 石戸里幸²⁾, 村瀬敏之^{1,4)}, 山口剛士^{1,3)}, 伊藤壽啓^{1,2)}

- 鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター
- 鳥取大学農学部獣医公衆衛生学教室
- 鳥取大学農学部獣医衛生学教室
- 鳥取大学農学部獣医微生物学教室

- インフルエンザ(H1N1)2009ウイルス株の県・市レベルでの再流行様式
○常城朱乃¹⁾, 板垣朝夫¹⁾, 土江秀明²⁾, 景山誠二¹⁾
 - 鳥取大学医学部感染制御学講座ウイルス学分野
 - つちえ内科小児科クリニック

- Pandemic 2009ウイルス感染によりソ連型ウイルス感染に対する防御能が得られるか? —パンデミックウイルスが従来のウイルスを駆逐する仕組みの解明に向けて—
○後川 潤, 大内正信
川崎医科大学微生物学教室

セッション2 座長 山田雅夫(岡山大医)

- イヌは日本脳炎ウイルス感染の優れた指標
○下田 宙, 田丸精治, 木村菜穂, 下島昌幸, 前田 健
山口大学農学部獣医微生物学研究室
- 日本脳炎ウイルスの感染とC型レクチン
○下島昌幸, 下田 宙, 木村菜穂, 前田 健
山口大学農学部獣医微生物学研究室

- 抗体によるI型猫コロナウイルスの細胞への感染促進
○塩崎雄登¹⁾, 寺田 豊¹⁾, 松井信貴¹⁾, 野口慧多¹⁾, 下田 宙¹⁾, 水野拓也²⁾, 下島昌幸¹⁾, 前田 健¹⁾
 - 山口大学農学部獣医微生物学研究室
 - 山口大学農学部獣医内科学研究室

9. II型猫コロナウイルスは猫の体内で出現する

○松井信貴¹⁾, 塩崎雄登¹⁾, 野口慧多¹⁾, 寺田 豊¹⁾,
高杉真綾¹⁾, 下島昌幸¹⁾, 望月雅美²⁾, 前田 健¹⁾

1) 山口大学農学部獣医微生物学研究室

2) 共立製薬

10. 高知県の野生動物間で流行しているイヌジステンパーウイルス

○長尾裕美子¹⁾, 田丸精治¹⁾, 西尾陽平¹⁾, 亀尾由紀¹⁾,
下田 宙¹⁾, 秋山今日子¹⁾, 原 由香¹⁾, 下島昌幸¹⁾,
渡部 孝²⁾, 前田 健¹⁾

1) 山口大学農学部獣医微生物学研究室

2) わんぱくこうちアニマルランド

特別講演1 座長 加藤 宣之 (岡山大医)

〔海の中のウイルス学〕

(独) 水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所
長崎慶三, 中山奈津子, 外丸裕司

特別講演2 座長 坂口 末廣 (徳島大酵素研)

〔植物におけるRNAサイレンシングとウイルス: イネ
RNA依存RNAポリメラーゼ遺伝子(*OsRDRI*)の解析〕
愛媛大学農学部生物資源学科 西口正通

第二日: 6月19日 (日曜)

セッション3 座長 景山 誠二 (鳥取大医)

11. Molecular analysis of transgenic melon plants showing virus resistance conferred by direct repeat of movement gene of Cucumber green mottle mosaic virus

○Ali Md. Emran¹⁾, Yutaka Tabei²⁾, Kappei Kobayashi¹⁾, Naoto Yamaoka¹⁾, Masamichi Nishiguchi¹⁾

1) Fac. Agriculture, Ehime University

2) National Institute of Agrobiological Sciences

12. ランエそ斑紋ウイルスの誘導する核内 viroplasm と粒子形成の関連性

○近藤秀樹, 鈴木信弘

岡山大学資源植物科学研究所

13. 植物ゲノム-RNAウイルス間の遺伝子水平伝播

○千葉壮太郎¹⁾, 近藤秀樹¹⁾, 谷 明生¹⁾, 最相大輔¹⁾,
坂本 亘¹⁾, 兼松聡子²⁾, 鈴木信弘¹⁾

1) 岡山大学資源植物科学研究所

2) 農研機構果樹研究所リング研究拠点



14. ストリアの寄生マダニ相とリケッチア保有状況

○木田浩司¹⁾, 中本敦¹⁾, 葛谷光隆¹⁾, 濱野雅子¹⁾,
藤井理津志¹⁾, 岸本壽男¹⁾, 城ヶ原貴通²⁾, 小林修司²⁾

1) 岡山県環境保健センター

2) 岡山理科大学

15. 最近のヒトヘルペスウイルス6の初感染時期について

○山田雅夫¹⁾, 吉田まり子¹⁾, 鳥越貞義²⁾, 渡辺正博³⁾

1) 岡山大学医歯薬学総合研究科病原ウイルス学

2) アクエア・メディカル・ステーション

3) すずかこどもクリニック

16. 皮膚扁平上皮癌における新規腫瘍ウイルスメルケル細胞ポリオーマウイルスの検出

○村上雅尚¹⁾, 今城雅之¹⁾, 中島英貴²⁾, 佐野栄紀²⁾,
大畑雅典¹⁾

1) 高知大学教育研究部医療学系微生物学講座

2) 高知大学教育研究部医療学系皮膚科学

セッション4 座長 鈴木 信弘 (岡山大資生研)

17. センダイウイルス感染におけるアクセサリーV蛋白質の機能

入江 崇, 五十嵐友季, ○坂口剛正

広島大学大学院医歯薬学総合研究科ウイルス学

18. 抗HCV活性の客観的評価には複数の細胞株と複数のHCV株由来のアッセイ系が必要である

○上田 優輝¹⁾, 森 京子^{1,2)}, 有海 康雄¹⁾, 池田 正徳¹⁾,
加藤 宣之¹⁾

1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学分野

2) 日本学術振興会特別研究員

19. 長期にわたる C 型肝炎ウイルスのゲノム複製によって発現が変動した遺伝子群の同定
○瀬島寛恵, 森京子, 有海康雄, 池田正徳, 加藤宣之
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学分野
20. 異なるヒト肝細胞株 (HuH-7 と Li23) を用いた HCV 感染レポーターアッセイ系の開発
○武田緑¹⁾, 池田正徳¹⁾, 有海康雄¹⁾, 脇田隆字²⁾, 加藤宣之¹⁾
1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍ウイルス学
2) 国立感染症研究所ウイルス第二部
21. プリオン感染細胞における細胞内小胞輸送の抑制
○内山圭司, 坂口末廣
徳島大学疾患酵素学研究センター神経変性疾患研究部門
22. 異なるプリオン株の産生メカニズムについて
○坂口末廣¹⁾, 宮田博規²⁾, 山口仁孝¹⁾, 村松直美¹⁾, 森剛志¹⁾, 内山圭司¹⁾, 犬伏祥子¹⁾
1) 徳島大学疾患酵素学研究センター神経変性疾患研究部門
2) 産業医科大学産業医学研究支援施設動物研究センター

